

■ 制作課題 1-1

使用ブック :Practice1_1.xlsx

下記の解説を参考にして、集計を主な目的としたプログラムを作成しましょう。
「売上(出庫)」「発注」「納品(入庫)」のボタンは図形で作成し、「発注伝票の発行」はフォームボタンで作成しましょう。

▶ 完成例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3		品番	品名	数量		発注伝票の発行				売上 (出庫)
4										
5										
6		在庫管理表								発注
7		品番	品名	現在の 在庫	最低の 在庫	発注残	発注先			
8		101	リンゴジュース	150	6		田沢食品			
9		102	コーヒー豆	50	5		コロラド			
10		103	フランスパン	36	4		abc Cook			納品 (入庫)
11		104	酵母パン	100	4		abc Cook			
12		105	アールグレイ	98	2		コロラド			

■ HINT- 考え方のフロー

■ 共通で利用する変数はプロシージャレベルの変数として宣言します。

- ▶ ワークシート作業で利用するワークシート型変数 (ws)
- ▶ フラグで利用する Boolean 型変数 (flag) (flag2)
- ▶ For 文で利用する変数 (i)

■ オブジェクト変数を利用します。

処理の汎用性や簡略化、他のプロシージャへの流用などを考え、オブジェクト型変数を利用すると便利です。

- ▶ ワークシートをオブジェクト型変数に代入します。
Set ws = Worksheets ("発注履歴")
- ▶ セルをオブジェクト型変数に代入します。
Set Target = Application.InputBox _
("印刷する No を選択してください", Type:=8)

■ 共通で利用するプログラムは Call ステートメントを利用します。

- ▶ 発注伝票の印刷は Call ステートメントで呼び出します。
Call 発注伝票

■ エラーが起こる可能性を回避する工夫をします。

- ▶ それぞれのプログラム実行前には、利用するワークシートを検索し、ワークシートが見つからなければ処理を中止します。

Memo

プログラムの仕様がつかみづらい場合は、Practice1_1ans.xlsm を実行して確認しましょう。

Point

▶ フォームボタンの作成

- ① [開発] タブの [コントロール] グループから [挿入] を選択します。
- ② ボタン (フォームコントロール) を選択します。
- ③ ワークシート上でドラッグしてボタンを作成します。
- ④ [マクロの登録] ダイアログボックスで登録するマクロを選択します。
- 図形へのマクロの登録
図形の上で右クリックして、[マクロの登録] を選択し、[マクロの登録] ダイアログボックスで登録するマクロを選択します。

Memo

変数名はテキスト通りでなくてもかまいません。

Memo

「発注伝票の発行」ボタンをクリックしたときの処理で使用します。

■ 「売上(出庫)」ボタンに登録するプログラムの作成

Step 1 ▶ 作業対象シート(ここでは「入力窓口」シートと「売上履歴」シート)がなければ処理を中止します。

* フラグを利用します。

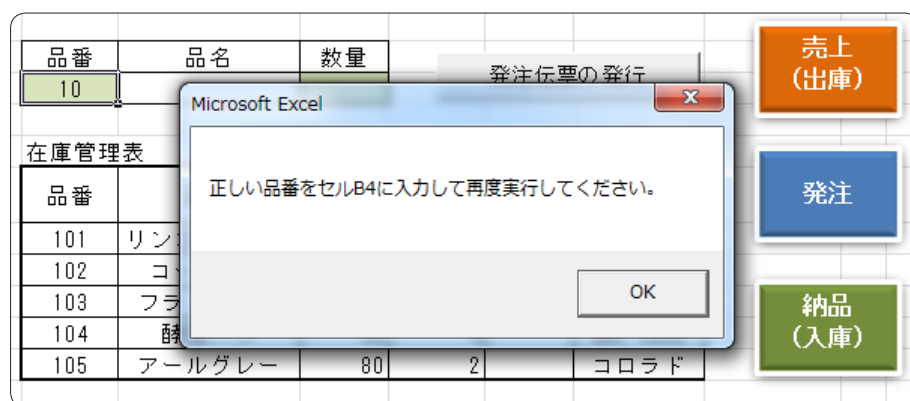
- ① 「入力窓口」シートがある場合は flag を「True」としてループを抜け、ない場合はメッセージボックスを表示して、処理を中止します。
- ② 「売上履歴」シートがある場合は flag を「True」としてループを抜け、ない場合はメッセージボックスを表示して、処理を中止します。

Step 2 ▶ 「B4」に入力された品番と、「B8」から「B12」までの品番を照合して、一致した場合は、「C4」に「C8」から「C12」までの品名を表示します。

* 「B4」と「B8」から「B12」を照合して、一致した品名を「C4」に表示します。

- ① For 文を利用して、セル「B4」と「B8」以降の値が同じであれば、「C4」に品名を表示します。
- ② また、一致する値があれば flag を「True」とします。

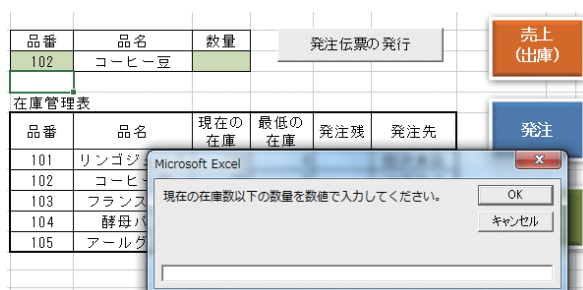
* 「B8」から「B12」の品番以外の品番を入力すると処理を終了します。



Step 3 ▶ 「D4」に入力された数量を該当する商品の在庫数からマイナスします。

* 「D4」が既存の在庫数以上の数や数値以外、または空白の場合は下記が表示されます。

- ① 「D4」が「0 以上かつ在庫数以下」の「数値」になるまで下記のメッセージボックスの表示を繰り返し、[キャンセル] ボタンが押されたらメッセージを表示し、処理を終了します。



- ② 「現在の在庫」の数が再計算されます。



Memo

シートがある場合を「True」、ない場合をElseで「False」と設定しても良いですが、Boolean型の変数の既定値は「False」ですので、Elseを利用せず記述すると簡単です。ただしその場合は、変数の値を「False」に戻す必要があります。また、別の処理で利用する場合も考慮し、既定値に戻します。

```
For Each ws In Worksheets
  If ws.Name="入力窓口" _
    Then
      flag = True
      Exit For
    End If
Next
If flag = False Then
  MsgBox "処理を中止。"
  Exit Sub
End If
flag = False
For Each ws In Worksheets
  If ws.Name="売上履歴" _
    Then
      flag = True
      ...
```

Point

一致する値がない、つまりflagが「False」の場合に、正しい品番の入力を促すメッセージを表示します。

Memo

「xx」になるまで処理を続けますので、「Do Until...Loop」ステートメントを利用します。

Point

▶ **インプットボックスの戻り値**
インプットボックス関数は入力された値を「文字列」で返します。Val関数を利用して数値に変換してから、条件判定を行います。

Point

▶ **キャンセルが押された時の処理**
インプットボックス関数で[キャンセル] ボタンが押されると空白文字列("") が返ります。

Point

▶ **IsNumeric 関数**
構文: IsNumeric (expression)
引数 expression が数値として認識できる場合は「True」、そうでない場合は「False」を返します。